

- 【亀岡市】
- 【一般社団法人亀岡市観光協会】
- 【亀岡市議会産業建設常任委員会】

にぎわいの創出に向けての意見交換会 次第

令和元年8月29日（木）

13:30～15:00

於：亀岡市役所8階 全員協議会室

1 開会

亀岡市議会産業建設常任委員会委員長（あいさつ・開催趣旨説明）

2 開会あいさつ

亀岡市観光協会会長あいさつ

亀岡市産業観光部長あいさつ

3 出席者自己紹介

4 意見交換

テーマ「亀岡のにぎわいのあるまちづくり」

- （1）ターゲットイヤーに向けての取り組みについて
- （2）「京都・丹波」としての広域観光の推進について
- （3）その他（議会に対する御意見等）

5 閉会

亀岡市議会産業建設常任委員会副委員長あいさつ

産業建設常任委員会意見交換会

◆テーマ 「亀岡のにぎわいのあるまちづくり」

(1)ターゲットイヤーに向けての取り組みについて

【現状】2020年のサンガスタジアム by Kyoceraの完成、大河ドラマ館のオープン(大河ドラマ麒麟が来る放映開始)

【取組案】

2020年のターゲットイヤーを見据えた一過性に終始しない継続した安定した2021年以降の観光誘致につなげる。

・2021年度以降に向けた2020年度の観光施策

- ① スタジアムを拠点とした城下町、市内中心部外への周遊観光の促進
 - ・亀山城下町散策の充実
 - ・二次交通の充実、シャトルバスの運行(湯の花温泉、谷性寺、森のステーション方面)
- ② その他の施策案
 - ・明智光秀をきっかけとした亀岡市内ハイキングコースの充実(山城跡歩き=キャスリング事業へ)
 - ・亀岡七大観光への取組(出雲大神宮、日本遺産穴太寺、4大ゴルフなど)
 - ・コンテンツ充実(匠ビレッジ、ガーデンツーリズム、ロケーションオフィス、など)
 - ・観光資源の整備(観光振興ビジョンの策定)

(2)「京都・丹波」としての広域観光の推進について

【現状】

広域観光としての取り組み。大丹波観光推進委員会(京都府兵庫県7市町)、森の京都DMO(京都府5市町)、京都丹波観光協議会(亀岡市・南丹市・京丹波町)での動きがある。

- ・大丹波観光推進委員会 旅まつり名古屋、ホームページ運営、大丹波サポーター運営など
- ・森の京都DMO インバウンド(海外でのプロモーション、人材育成) 観光プロモーション全般(商談会、商品造成、商品開発、組織運営(京・来て観て丹波の会、食森協議会事務局運営)、メディア情報プロモーション全般)

(特徴)大丹波観光推進委員会 地域をくぐるキーワードは「丹波」「明智光秀・足利尊氏」

森の京都DMO 地域をくぐるキーワードは「丹波」「明智光秀・足利尊氏」だが、福知山綾部を含む森の京都DMOとしては、カテゴリーの性質が根本的に多少異なる。

京都丹波観光協議会は南丹地域としてまとまりがあり、行動するには動きやすい規模である。

【取組案】

京都丹波観光協議会(亀岡市・南丹市・京丹波町)を核とした広域観光誘致を継続、定着させる。

- ・地域内外に向けた観光プロモーション、商談会など
- ・個別対応プロモーション メディア、媒体、旅行会社営業アプローチ、ファミトリップ対応
- ・新たなしかけ 京都丹波まで車で2時間圏内自治体アプローチ
- ・観光分野の行政職員の人材育成
- ・「明智光秀」「京都丹波ブランド」の普及と定着
- ・森の京都 DMO、大丹波観光推進委員会との連携事業

資料「平成30年度亀岡市観光入込客数」

- ① 嵯峨野観光鉄道 128万人
- ② 湯の花温泉旅館ホテル(6軒) 25.5万人
- ③ ガレリアかめおか 22.4万人
- ④ 出雲大神宮 20万人
- ⑤ 保津川遊船企業組合 17.9万人
- ⑥ 穴太寺(日本遺産) 17万人
- ⑦ 4大ゴルフ場 13.8万人
- ⑧ かめまるマート 2.1万人 以下省略

※上位7組織で全体の77%の入込客224万人を占める。